

## 平成 26 年度 第 2 回環境マネジメントシステム改善委員会議事録

日 時 : 平成 26 年 11 月 12 日(水) 14 : 30～15 : 15  
場 所 : 本部棟 5 階 大会議室  
出席者 : 辻 敏明委員長, 巢山 弘介, 熊丸 真太郎, 長屋 敦, 谷口 隆雄,  
西脇 宏, 西村 浩二, 堀池 幸浩, 小村 陽悦, 米原 昌隆,  
岡本 直之, 伊藤 なつみ, 御輿 文雄, 小豆澤 伸司(湊 直樹委員代理),  
江畑 勲(安達 知弘委員代理),  
欠席者 : 飯野 公央, 山本 晃, 為石 勝美  
陪 席 : 山田 智志, 川上 直美, 大野 瞳  
事 務 : 川本 和弘, 百合澤 彰, 青木 孝恵, 小澤 崇良, 上野 和将,  
木村千寿子

### 確認事項 :

#### 1. 平成 26 年度第 1 回 EMS 改善委員会議事録(案)の確認

委員長より, 前回委員会議事録(案)について, 修正等ご意見を 20 日までに事務局へ連絡いただきたい旨, 確認依頼があった。

### 議 題 :

#### 1. 平成 26 年度島根大学における節電の取組実行計画(冬季)について

(報告事項 3. 平成 26 年度島根大学における節電取組計画(夏季)の実績について)

委員長より, 政府からの通知を踏まえた本年度冬季の省エネルギー対策についての審議と, 本件に関連する内容である本年度夏季の実績についての報告をする旨, 述べられた後, 詳細について米原エネルギー管理員より説明があった。

内容は, 政府からの節電要請として中国電力管内は 12 月 1 日から 3 月 31 日の間, 2010 年度最大電力に対し 1.3%の定着節電が見込まれていること, また, 昨年度冬季の本学節電目標として同期比 4%削減に対し 6%の節電ができたことを踏まえ, 昨年度の目標と実績の間を取り 5%を今冬の節電目標値としたこと, あわせてこれに係る周知用のチラシを作成したので活用いただきたいと説明があった。

また, 今年度夏季の電力使用量の実績については, 削減目標 6%(対 2010 年度)に対し, 目標値を大幅に上回る 16%削減となったことが報告された。これについては, 教職員の節電への取組協力にあわせ, 7~9 月の外気温度の月平均が 2010 年度に比べ 0.4 から 4.1 度低くなっており, 冷夏であったことが要因の一つと考えられると説明があった。

審議の結果, 今冬の節電の取組実行計画案について了承された。

委員長より, 本件について 18 日開催の役員会及び 12 月開催教育研究評議会で協力依頼をすると共に, 取組実行計画並びにチラシをホームページへ掲載すると説明があった。

#### 2. 平成 27 年度のスケジュール(案)について

委員長より, EMS 関連スケジュールについてこれまで実施した日程等を踏まえて, 次年度にむけた改定案を審議したい旨, 述べられた後, 詳細について事務局より説明した。

変更内容は, 以下のとおりである。

- ①各部局等からの前年度取組報告書の提出日を、5月9日から4月15日締切りとし、これに伴い評価原案の作成・確定が5月中旬まで、評価結果通知が5月末となる。
- ②各部局等の平成27年度実施計画書提出期限を、5月末から4月15日とする。
- ③学長見直し会議を9月から6月末とする。

この変更については、主として環境報告書発行に向けたスケジュールを考えたものであり、本年度より部局等から提出された前年度の取組報告書と環境報告書の原稿を兼ねたため、文言を環境報告書用に修正する時間を見込む必要があること、これまで作業部会が作成していたデータ等が部局等の報告から漏れているため、別途作成依頼する必要があることなどから、スケジュールを前倒しにしたことが説明された。

委員より、取組報告書の段階では、できるだけ多くの内容を報告してもらい、なるべく評価として取り上げることを予め部局に周知する必要があるだろうと意見があった。

審議の結果、改定案について了承されたが、委員長よりこのスケジュールについても次年度活動をした結果、不具合があれば改善してより良いものにしていきたいと説明があった。

### 3. その他 なし

#### 報告事項 :

##### 1. 学長マネジメントレビューの結果について

委員長より、学長マネジメントレビューを9月10日に行ったことが報告された。

報告の内容は主にISO14001の認証を見送り、各部局等での自立した環境への取組みを実施していくため、EMS実施委員会から改善委員会へ移行した内容とした旨、事務局から報告した。

委員長より、学長からは「本学EMSの新たな展開を目指して、環境方針についても両キャンパスの委員会で審議を行い、早急に改定案を策定すること。なお、出雲キャンパスにおいては、ISO14001規格改正(2015)を念頭において審議すること。」と指示があったことが報告され、今後出雲キャンパスでISO14001規格改正を念頭に審議が行われることから、松江キャンパスでもそれを受けて次回委員会で検討すると説明があった。

##### 2. 環境報告書2014の発行・環境報告会について

委員長より、環境報告書の発行に関して、各委員へ原稿作成・校正の協力についてと、外部委員の御輿委員、湊委員に第三者評価をいただいたことのお礼が述べられ、9月末に発行できたことの報告があった。

なお、スケジュール等については議題2平成27年度のスケジュール(案)の変更理由として報告したので割愛した。

また、事務局より環境報告会について資料に基づき報告内容と、出席者は環境問題通論B受講学生59名と公開授業の参加者である一般の方3名の出席があった旨、報告した。

3. 平成 26 年度島根大学における節電取組計画（夏季）の実績について  
議題 1 にあわせ、報告済み。

4. 平成 26 年度各部局等の実績活動計画の変更について

委員長より、昨年度の取組報告に係る評価結果を 6 月 30 日に各部局等に通知した後、本年度の実施計画等の変更があったので報告する旨、述べられた。

事務局より、生物資源科学部及び総合理工学研究科より環境研究に係る計画の変更及び追加があったことを資料に基づき報告した。

本件について委員長から、本委員会でも実施計画の環境教育・研究等が空欄となっている部局でも、実際には取組みを実施していると思われると話題に上がっていたが、部局で計画を見直されより良いものに改善された報告であり、今後もバージョンアップを行っていただきたいと発言があった。

5. その他

○落ち葉清掃について

例年この時期に実施している落ち葉清掃について、本年度は 11 月 19 日（水）の昼休みに実施することの報告と協力依頼があった。

○外部委員より委員会発足から 1 年となったこと感想等

〔御輿 文雄委員より〕

省エネの報告について、学内では経営面から金銭的な部分の実績も必要だと思うが、対外的には環境負荷低減として、エネルギー・CO<sub>2</sub> の削減がどれだけできたかを全面に出された方がよいだろう。

落ち葉清掃等は環境美化として当たり前のことであり、行事として大げさに実施することでこれ以降しないのではなく、当たり前に誰もがができるような教育をして欲しい。

〔江畑 勲氏（安達 知弘委員代理）〕

松江市の行事として、環境フェスティバルを 11 月 16 日に、くにびきメッセで開催するが、この実行委員会として EMS 学生委員が協力していることへ、お礼が述べられた。

大学の省エネの取組みを参考にしているが、金銭面と省エネは相反することも多いため、CO<sub>2</sub> 削減の方を全面に出していただきたい。

〔小豆澤 伸司氏（湊 直樹委員代理）〕

本委員会の審議事項は環境美化から温暖化対策、環境教育まで多岐に渡っていると感じている。省エネの件については大学として、経営面を考慮すると金銭的な面からの議論も必要であることは理解できる。

委員会については、環境報告書の第三者評価の項目に記載したとおりですが、今後も引き続き大学として環境問題に取り組んで活動をより活発に行っていただきたい。

○次回委員会の開催について

学長マネジメントレビューでの学長からの指示である、環境方針の改定についての審議もあることから、年明け 2 月頃に開催予定であると確認があった。